

## 第19回バイオメディカル分析科学シンポジウム(BMAS2006)

日時 平成18年8月1日(火) - 3日(木)

会場 九州大学 病院地区(馬出キャンパス)医学部百年講堂 (福岡市東区馬出3-1-1)

主催 日本薬学会物理系薬学部会

### <教育講演>

臨床からみたバイオメディカル分析科学研究 (東北大病院薬剤部長) 後藤順一

### <特別講演>

1. バイオインフォマティクスによる大規模情報解析の最前線  
(産総研生命情報科学研究センター長) 秋山 泰
2. エイジング研究最前線  
(東京都老人総合研究所研究部長・老化ゲノムバイオマーカー研究チームリーダー) 白澤卓二

### <セッション1>“最先端の分離と検出”

オーガナイザー(広島大医歯薬) 升島 努・(武庫川女大薬) 萩中 淳

1. 構造の制御された高分子共連続体を用いる分離と検出 (京工繊大) 細矢 憲
2. 質量分析法を用いるタンパク質の精密分子識別  
( (1) 東北大学 (2) 東北大病院薬 ) 眞野成康1、後藤貴章1、後藤順一1,2
3. グライコミクスにおいて分離分析が果たす役割 (近畿大学) 掛樋一晃

### <セッション2>“プロテオミクス解析のパラダイムシフト”

オーガナイザー(九大工) 片山佳樹・(アプライドバイオシステムズジャパン) 矢尾裕彦

1. プロテオミクスの基礎から最先端まで-定量的プロテオーム解析を中心にして-  
(東京医大) 西村俊秀
2. タンパク質のリン酸化部位同定法の確立とその細胞シグナルネットワーク解析への応用  
(京都学園大バイオ環境) 松原 守
3. 尿プロテオミクスによるバイオマーカー探索 (大阪大蛋白研 プロテオミクス総研セ) 高尾敏文

### <セッション3>“次世代の機能性可視化プローブテクノロジー”

オーガナイザー(東大薬) 船津高志・(同仁化学研) 佐々本一美

1. 蛍光、発光、増感能を制御して、新しい生物研究ツールを創り出す (東大薬) 浦野泰照
2. ケージド化合物を用いた細胞のリモートコントロール (東邦大理、複合物性研セ) 古田寿昭
3. タンパク質表面の認識・変換化学とバイオ分析 (京大工) 濱地 格

### <セッション4>“健康と生活の安全をサポートする分析科学”

オーガナイザー(長崎大医歯薬) 黒田直敬・(九州保健福祉大薬) 川原正博

1. ヒ素の生理作用発現メカニズムの化学的解析; ヒ素のケミカルバイオロジー  
(徳島文理大薬) 櫻井照明
2. プリオン病とたんぱく質・核酸・糖質・脂質生化学の接点 (国立感染症研) 萩原健一
3. 長崎で観測された黄砂の分析 (長崎県衛生公害研) 森 淳子

<若手シンポジウム>

1. ポリアクリルアミド誘導体の高次構造変化を利用した蛍光イオンセンシング  
(東大薬) 小野田真紀
2. 尿中代謝物を指標とする多環芳香族炭化水素類の曝露評価法の開発  
(金沢大自然科学) 鳥羽 陽
3. LC-MS用多機能アミノ酸誘導体化試薬の開発と応用  
(味の素) 新保和高
4. シリカモノリス担体の分析・分析前処理への応用  
(ジーエルサイエンス) 宮崎将太
5. マイクロ流体の特殊性と制御性を用いた分子の操作性と分析方法への応用  
(産総研) 山下健一
6. 磁気共鳴法を用いたレドックス動態の画像解析  
(九大薬) 山田健一

※講演タイトルは仮題を含みます。

一般講演 口頭、ポスター発表による一般講演を広く募集

発表申込締切 6月9日(金)

要旨原稿締切 6月23日(金)

予約参加登録費 一般6,000円, 学生4,000円(当日各1,000円増)

懇親会 8月2日(水) 医学部百年講堂内(懇親会参加費: 一般6,000円, 学生4,000円)

併設展示 関連機器・試薬メーカーによる展示会を併設致します。

連絡先

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 九州大学大学院薬学研究院

生体分析化学分野 実行委員長 財津 潔

Tel(092)642-6596 ; Fax(092)642-6601

事務局E-mail : bmas2006@phar.kyushu-u.ac.jp

庶務 浜瀬健司 会計 中園 学